

2022年3月14日
商工中金

農産物の自動収穫ロボットを製造・開発する J-Startup 企業の AGRIST 株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間の要する分野に取り組む創業間もない中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（宮崎支店）は、AGRIST 株式会社様（本社：宮崎県児湯郡新富町、代表者：齋藤 潤一様）に対し、自動収穫ロボットの製造・開発に必要な資金枠 3,000 万円を開設しました。

同社は、農産物の自動収穫ロボットを製造・開発するベンチャー企業で、2021 年に経済産業省が選定する J-Startup 企業にも認定されています。

同社が開発したピーマン自動収穫ロボットは、AI カメラで収穫最適期のピーマンの自動収穫が可能、農業の人材不足という課題解決に貢献します。今後は、収穫量のデータ収集・分析を行い、品種の最適化や栽培方法の確立につなげるとともに、様々な農産物における生産性向上を進めていきます。

商工中金は、経営者や外部専門家、ユーザーである農家へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を Value up レポート（※）にまとめ、同社の強みや財務上の課題を共有。今後、益々の成長が見込まれる自動収穫ロボット市場において、同社の技術は高齢化が進む日本の農業に対し大いに貢献すると考え、ロボットの製造・開発に必要な資金枠を開設しました。なお、本件は、「経営者保証に関するガイドライン」に則り無保証としています。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【AGRIST 株式会社様の概要】

所在地	宮崎県児湯郡新富町富田東 1-47-1
代表者	齋藤 潤一様
資本金	1 億円
従業員数	19 名（2022 年 1 月末）
設立	2019 年 10 月
業種	農業用機械製造業



【ピーマン自動収穫ロボット】